

平成24年度九州大学大学院法学府  
修士課程入学試験問題（秋季）

トランスナショナル法

次の中から、2問を選択して解答しなさい。

- 問1. GATT/WTOを通して、最恵国待遇と内国民待遇という二つの理念は大きな柱となっているが、この二つの理念について説明せよ。
- 問2. GATT/WTOによる世界規模での貿易の自由化が進められてきたが、一方では、FTA、関税同盟、EPA等による地域的な貿易自由化が進められてきている。両者は時として矛盾することもあると考えられるが、この両者の関係について論ぜよ。
- 問3. 当初は順調にスタートした国際企業合弁がうまく機能しなくなってその解消を迫られることは少なくない。国際合弁はどのようなケースで解消を迫られるような事態となるのか、さらにそうなった場合に法的にどのように解消を進めればいいのかについて述べよ。
- 問4. 米国の製造物責任においては製品の欠陥が類型別に整理されているが、各欠陥類型について述べて、それぞれの欠陥類型において欠陥の有無をどのように判断するのかという基準についても述べよ。
- 問5. 国際契約交渉におけるいわゆる書式の戦い（書式合戦）について、その意味合いと争いになった場合にどのように判断すべきかについて論ぜよ。
- 問6. 特許ライセンス契約に関連して、パテントプールとクロスライセンスについて説明せよ。
- 問7. 米国独占禁止法における域外適用と効果理論について論ぜよ。